書店のための出版情報紙

Vol.9





# 結果発表

書店員が投票する! デジタル販促チラシコンテスト



第1回 書店員が投票する! デジタル販促チラシコンテスト 結果発表 1位はPHP研究所、書店員から多くのコメント



# 「株式会社今井書店」

AIによる仕入・返品システムで在庫最適化 書店MDシステム「BOOKS-TECH.COM」本稼働



発行所:株式会社 文化通信社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-2 東京堂錦町ビル3階 TEL:03-5217-7730 e-mail: eigyou@bunkanews.co.jp Web:https://book-link.jp

# BookLink 記念 第1回 書店員が投票する! デジタル販促チラシコンテスト 結果発表

# 1位はPHP研究所、書店員から多くのコメント

文化通信社はデジタルチラシ配信サービス「BookLink PRO」登録書店員によるチラシの人気投票キャンペーン「アンケートに答えて当る!」を3月26日から4月30日にかけて実施した。書店員が配信されている販促チラシやPOPなどにコメントを付けて投票するコンテスト方式で行われ、77人の書店員から255票が寄せられた。出版社で得票数が多かったのは、1位がPHP研究所、2位が日経BPマーケティング、3位が中央公論新社となった。

チラシ別では、1位がPHP研究所「発売即4刷で5万部突破!【文庫4月30日重版」、2位がWAVE出版「【WAVE出版】重版出来!フェア・しかけ販売にオススメです!」、3位が中央公論新社「中公文庫池井戸潤さん『花咲舞が黙ってない』4/28(日)朝日新聞半5段広告決定」だった。

コメントからは、書店が求める情報や評価するポイントなど、出版社が販売促進を行う上で参考になる声が挙がった。コメント全体で目についたのは、「色鮮

やか」「カラフルで目にとまる」「表紙がわかりやすい」「写真がきれい」といった色についての評価が多くあった。カラーで表示されることのインパクトは強く、訴求効果が高い傾向にある。

内容では「パブ情報が助かる」「新聞広告掲載作品が分かってよい」といった パブ情報が評価の対象になっているものが目立った。このほか、「他店で成功し た仕掛け販売は、とても参考になります」といった販促事例へのニーズもある。 一方で、簡潔にポイントが絞られたチラシを評価する声も見られた。

注文書以外においては「POPやパネルをすぐ用意できるので助かります」など、拡材を充実させてほしいという要望があった。

「参加出版社をもう少し増やしていただければ大変助かります。とても使いやすいので……」と参加出版社の広がりを求める声もあり、文化通信社では出版社への呼びかけを強めていく。



# 発売即4刷で5万部突破!【文庫】4月30日重版



文庫化のきっかけになった感想をポストされた方による、文庫発刊ポストで再び話題に! その様子が『女性セブン2024年4月25日号』で取り上げられました!



彬子女王

ウ

累計5.5万部突破! **조达 === 日日 /**刀 (=**-) (2-4-1**==

# - #9a PHP文庫刊行40周年記念 赤と青のガウン

オックスフォード留学記

英国のオックスフォード大学に留学、女性皇族として初めて海外で博士号を取得して帰国された彬子女王殿下の感動の留学記。 ★新たに文庫版へのあとがき収録

紀伊國屋書店新宿本店様 週間ベストセラー **1**位! ⑷/~4/7 文庫)

4/27 (±) 日経新聞全5段広告 5/8 (\*) 産経新聞半5段広告掲載!

ご注文はPHP研究所 FAX: 050-3606-4483 または Bookインタラクティブ
※必ず050をつけてご発信ください。 ※次回増制分からご出商、部設調査させていただく場合もございますのでご了承ください。

「PIPデータ」記載のある商品はBookインタラクティブ 「暖袋ツールダウンロード」ページ・Booksf約0でデータダウンロード可能!

★チラシ配信サービス「BookLink」でも注文書を公開中!

- ●店頭でも反響がかなりありました。
- ●今やSNSでのバズりと商品需要は切っても切れない関係なので、 とても目を引くタイトルだと思いました!チラシの見出しもシンプル なのにパッと目に付くデザインなのが良いと思いました。
- ●SNSでの反響は大きいため、目を惹いた。
- ●「SNSでバズった」は強い引き文句で書名等も認識しやすかったから。
- ●タイムリーに売れている理由がわかり易い。
- ●見出しに惹かれる。
- ●売れている理由がわかりやすい。
- ●問合せが多く、印象に残っている。

# 2位

# 【WAVE出版】 重版出来! フェア・しかけ販売にオススメです!

- ●アピールポイントが明確。イラストも 良い。
- ●仕掛けをする商品を探していた。
- ●これで発注しました。
- ●仕掛けの提案があると注文したくなる。
- ●重版出来という端的な表題とイラスト で単純に興味をそそられたから。
- ●まず、自分が気になるという事で目に 留まりました。





中公文庫 池井戸潤さん 『花咲舞が黙ってない』 4/28(日)朝日新聞 半5段広告決定



- ●手書きのコピーが華やかで目を惹きました。
- ●手書きのチラシが目を引いた。
- ●「チューコーですよ!」いつも手書きの文体が独特で、特徴のあるチラシ だと感じながら拝見しております。
- ●チラシの文字が大きく、手書きのため目に留まる。情報を簡潔にして あるため読みやすい。
- ●文字(フォント)がキャッチー。POPに使いたいくらい。
- ●中公さんの手書きチラシはいつも(何が書いてあるんだろう?)と興味をひかれます。
- ●文字が目に飛び込んでくる感じ。

# 文化通信 The Bunka News

# 【寄稿】上位出版社の担当者から



# PHP研究所



## 奥野智詞氏

投票いただきました皆様に御礼申しあげ

多くの注文書の中から限られた時間で いかに読んでいただくか。お寄せくださった 感想は日々の試行錯誤が報われた思いで 大変励みになりました。今後も「価値ある」 情報として認識いただけるよう尽力して まいります。



### 川﨑風花氏

ご投票いただいた皆様、誠にありがとう

FAX注文書は訪問やお電話などの 営業とは違い、反響やコメントをいただく ことが少ないため、初めて日の目を見るよう な気持ちです。いただいたコメントをもとに、 より良い情報提供ができるよう努めて参り



# WAVE出版



この度は『「自分の意見」ってどうつくる の?』チラシに多数のご投票をいただきあり がとうございました!

多くの書店様がこのチラシで『しかけ 販売をしてみたい!』と思ってくださった事 が何よりうれしいです。このチラシは、この 本を気に入って下さった書店員様が大きく 店頭でしかけ展開して下さり、その時に 作成したパネルを元にしています。

これを機会に、より沢山の書店様にしか け展開して頂ければうれしいです。



# 中央公論新社

# 横山美紀子氏

いつも大変お世話になっております。中央公論新社の横山 美紀子と申します。今回はこのような賞をいただき、本当にあり がとうございます。毎週木曜日に、、チューコーですよ″と題して 手書きのご案内を書店様にお送りしています。心がけているの は、簡潔に、わかりやすく、お忙しい書店員のみなさまがパッと 見て判断できる紙面をということ。今後も、目に留まる紙面を 作ってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

これを機会に、より沢山の書店様にしかけ展開して頂けれ ばうれしいです。

### 【カラー表示等への評価】

- カラフルで見やすい。
- ・写真が多く見やすい。
- ・イラスト・写真入りで、どういう内容の本なのかイメージしやすい。
- ・視認性の高さ(サムネイル画像でもある程度詳細がわかる)。
- ・プッシュされている新帯のピンク色とチラシのピンク色がマッチしているので、 すぐに商品にピンと来ました。
- ・チラシがカラフルで目に留まりやすく、すべての書影がチラシに掲載されており、 参考にしやすい。
- ・絵本だからということもあるが、カラフルなため、一覧の中で目立ち気になった。
- ・商品がどのようなものなのかきちんと写真で紹介されているので安心。
- ・遠目から見ても目立つ「赤」と「黄」の文字は良いですね! 1 巻の試し読みもQR コードで付けてくださっているのがとても有難いです。
- ・良い意味で注文FAXぽくなかった。

## 【パブ情報への評価】

- ・新聞掲載前に情報頂け店頭分の確保が出来た。
- ・どの新聞広告、いつ掲載されるのかが明確に記載されており、 自分の地域への訴求力があるのかどうかが一目瞭然。
- ・朝日新聞広告掲載は反応があるので情報は有難いです。
- ・書影と掲載新聞がひとめで分かるデザイン。わかりやすい。

# 寄せられた主なコメント

# 【POP・拡材への評価】

- 新しいPOPがほしかった。
- ・POPやパネルをすぐ用意できるので助かります。 もっと多くの出版社が新刊や話題書のPOPデータ を迅速にあげていただけると嬉しいです。
- ・拡材の配信は需要あるのでこれからもよろしくお願 い致します。

## 【展開事例】

- 書店の展開写真と売上実績が 載っているので。
- ・他店で成功した仕掛け販売は、 とても参考になります。

# 【その他】

- ・事前指定ができる。締切日が大きいので分かりやすい。
- ・チラシの文字が大きく、手書きのため目に留まる。情報を簡潔 にしてあるため読みやすい。
- ・ランキングのご案内は発注の際にとても助かります。
- ・シンプルイズベスト!情報過多になってなくて、それでも充分に アピール出来ていて興味を引かれたから。
- ・帯変え告知はありがたいのです。
- ・「5000部重版」と記載いただいていると、出版社様の期待度を 知ることができて、参考になる。

書店・出版社の皆さまへ デジタルチラシ配信サービス「BookLink PRO」

# 第2回「デジタル販促チラシコンテスト」開催決定

好評につき、第2回「書店員が投票する! デジタル販促チラシコンテスト」の開催が決定しました。次回の キャンペーンは7月1~31日までの1ヵ月間となります。書店員の皆さまは、ぜひコメントを添えて投票をお願い いたします。第1回と同様に参加書店員から抽選で10名に図書カードNEXT3000円をプレゼントします。

また、出版社の皆さまにはキャンペーン期間中に注文書・POPなどを積極的に配信いただき、人気投票コンテスト にご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。投票結果や寄せられたコメントは、ニュースメディア「BookLink」 やメールマガジンなどで公開する予定です。

# 株式会社今井書店

# AIによる仕入・返品システムで在庫最適化 書店MDシステム 「BOOKS-TECH.COM」本稼働

AI事業会社の株式会社ACESと株式会社光和コンピューターは、AIによって返品と補充仕入をサポート する書店MDシステム「BOOKS-TECH.COM」を共同開発し、山陰地方で書店を展開する株式会社今井 書店の店舗で実運用を開始。補充仕入の実証実験では商品消化率が70%を超え非導入店を大きく上回る など効果を発揮している。

# 個店別に最適在庫を分析

ACESは2017年に創業した東大発スタートアップ企 業で、DXパートナーサービス、AIソフトウェアサービス を提供する。

「BOOKS-TECH.COM」は昨年8月から今井書店 学園通り店(島根県松江市)で実証実験を開始。今年 3月まで検証を行い、4月から全14店舗でまず返品から 稼働を開始した。

返品は、光和コンピューターのPOSシステムと連携 し、入荷・在庫・販売などのデータから店舗ごとの最適 な在庫を割り出し、優先順位を付けた不稼働在庫のリ ストに沿って返品する。

「単位面積当たりの売上や回転率から稼働銘柄を 割り出しています」とACESの與島仙太郎取締役COO は説明する。

これまでの返品作業は、全国的な不稼働リストなど をもとに、入荷した新刊のスペースを空けるために必 要な冊数を抜き取っていたが、システム導入によって各 店別にリスト化された不稼働在庫銘柄を抜き取る形に なった。

「スペースを空けるための作業から、リストの本を抜き に行かなければならなくなったので、当初は作業が増え ると現場から反発もありましたが、この取り組みは省力 化ではなく在庫を最適化することが目的です。結果とし て返品量が減り、作業も楽になります」と今井書店の舟 木徹社長はシステム導入の目的を話す。

# AI推奨で消化率72%に

不稼働在庫の返品とともに、補充注文にもAIを活用 することで、さらに在庫を最適化し、回転率を向上する ことで売上拡大を図る。

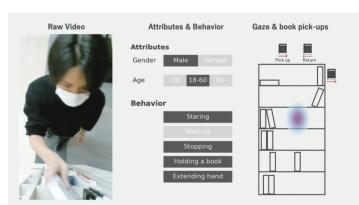
同じチェーンの店舗でも、規模や立地 などによって売れる商品は違う。 「BOOKS-TECH.COM」では、返品と同 様に個店別の販売傾向を分析し、何冊 仕入れれば売り上げが最大化するのか 補充注文すべき冊数を提示してスタッフ の判断で発注する。

まずコミックスの2巻目以降とビジネス 書、文庫、新書など主要銘柄で稼働。実 験でAIが仕入冊数を推奨した銘柄につ いては、半年間での消化率が72%に達 し、未稼働店の50%を大きく上回った。

システム運用は、コミックスの継続仕入 については本部から各店舗に需要予測 を提供し、補充発注は店舗ごとに返品シ ステムと連動して順次稼働している。

本部、店舗ともに「BOOKS-TECH. COM」の画面で推奨返品分析、推奨入 荷分析などを確認することができるの で、システムが提案する優先度や推奨を 見ながら店舗で判断することも可能だ。





画像分析によるマーケティングのレジ前属性分析(上)と棚の興味行動分析

# 画像分析によるマーケティングにも期待

「売れない商品を返して、売れる商品を仕入れること で、より求められるものが揃った店舗になります。AIを活 用することで個別の店ごとに実現できれば、お客様のよ り良い体験につながり、より来店頻度が上がり、より購入 いただけます」と舟木社長は述べる。

さらに「アメリカでは小規模な独立系書店が増えるな ど、個性的な書店は支持されています。日本もネット書

店だけになることはあり得ません。人々の生活圏により 良い体験ができる書店をつくることができれば、お客様 の支持を得られます」との考えを示す。

予測が難しい新刊仕入については当面着手する予 定はないが、今後、データが蓄積することでAIによる分 析の精度は向上する。また、ACESは画像認識技術を 活用した非会員の購入分析や、棚での動向把握など を進める予定で、さらなるマーケティングの可能性を追 求していく。





ACESの與島氏

# 株式会社今井書店

創 業:1872年 代表者: 舟木徹 資 本 金:1000万円

所 在 地:〒690-0887 島根県松江市殿町63